

[第655回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和5年3月23日(木) 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 大阪放送 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
たつみ 都志 鎌田 雅子
徳 永 潔
上 林 寛 和 (書面参加)

放送事業者側出席者の氏名

吉田 禎宏 赤松 加枝子
坂田 祐介

4. 議題

1) 番組審議 『土曜クラウン劇場 みゆ×てつ』

2) その他

5. 議事の概要

議題1) 『土曜クラウン劇場 みゆ×てつ』について、番組の企画意図と内容を説明し、意見を聞いた。

『土曜クラウン劇場 みゆ×てつ』は2022年4月放送開始。パーソナリティはクラウンレコード所属の演歌歌手。2015年に18歳でデビューした福島県出身の津吹みゆ、鳥羽一郎さんの次男で2022年11月に演歌歌手としてデビューした木村徹二の2人でお送りしています。新曲のPRと共に、これからの演歌・歌謡界を支えていく若手の歌手を知って頂くひとつのきっかけになればと思い制作している番組です。今回ご審議いただく内容は2023年1月28日（土）の放送から抜粋したものです。

<各委員のご意見>

◆津吹みゆさん、木村徹二さんともに、声がとても心地よい。柔らかみがあり、活舌もよい。さすがトレーニングを積んでいる歌手さんだな、と感じた。みゆさんの、ほのかな福島なまりが可愛らしい。親しみが湧く。

◆パーソナリティ2人の声もさわやかで聴きやすく、申し分ない番組。津吹さんが年下の先輩、と木村さんが年上の後輩という間柄だが、いい関係を築けている。木村徹二さんの落ち着きようはさすが鳥羽一郎さんのご息だなと感じた。

◆第一印象としては声がきれいで聴きやすく、感じが良かった。いいコンビだと思いながら聴いた。木村徹二さんが少し年上で、自分のペースで話をすすめていて、それに津吹さんが入っていくスタイル。津吹さんが天然で、そこにあわせていく木村さんの懐が深い。津吹さんは歌がうまくサビも効いていてさすがという感じ。しゃべりとのギャップもあった。福島訛りもかわいいので、味として残した方がよい。

◆上京するというリスナーのとんぼさんは高知市のかたで、アドバイスをやる津吹さんが福島の人という事で、関西の視点を入れて欲しいと思った。2人のトークが中心となるので、とんぼさんのハガキの内容をもう少し聞けると内容がもっと入ってくると思った。もう少しお2人のキャラクターを出す方法はあるような気がする。

◆「若手の歌手を知って頂くひとつのきっかけ」というのはその通りの番組になっている。話の内容が一般的すぎるので、この人ならではの話題が欲しい。番組リスナーの層も見えにくいと思った。

◆ 演歌の番組は沢山は無いと思うので、演歌・歌謡曲ファンたちにとっ

て大切な番組だろうと想像できる。オープニングトークでは津吹さんが自身の経験を、実感をもってリスナーへアドバイスをしていたことに好感を持った。東京の人と心の距離が分からないという言い方が興味深かった。木村徹二さんのデビュー曲も流れたし、三山ひろしさんの趣味がカブトムシという話も面白かった。番組としては違和感も無く、ファン層を広げていく意義もあると思うので、このまま続けて欲しい。

以上